

PHRプラットフォームで実現する 患者中心医療と地域包括ケア・製薬・保険DX



演者

植田 優子 氏

TIS株式会社

ヘルスケアサービス事業部
ファーマ&メディカルサービス部 部長



富永 知義

株式会社Welby

セールス&ビジネスクリエイティング部 部長

データ駆動型社会が現実のものとなりつつある今、PHR (Personal Health Record) は、単なるライフログの蓄積にとどまらず、患者中心医療を社会に定着させていくための重要な基盤として位置づけられています。医療データやライフログ、マイナポータル等の情報を生活者自身が主体的に扱う時代において、PHRをどのように活用し、患者中心医療をいかに進め、継続していくのかは、医療・ヘルスケアに関わるすべての関係者にとって重要なテーマです。

Welby Lunch Sessionは、こうした問いに向き合うために継続的な知の発信源として、過去2年間で計22回開催してきました。医療・ヘルスケア領域の第一線で活躍する登壇者とともに、PHRと患者中心医療を実践へと進めるための考え方やプロセス、体制、価値観を共有してきました。知見や論点をアップデートし続けるシリーズとして、理念にとどめず、現場での実装につなげるための視点をお届けします。

第26回では、次世代ヘルスケアDXの社会実装に向けた取り組みをご紹介します。PHRの浸透、活用における様々な課題解決に向けて、TISとWelbyは「健康・医療情報は個人のモノ」というコンセプトのもと、生活者が自身の個人データを自身の意思で移動できるデータポータビリティを重視し、両社が取り組むPHRプラットフォームと医療機関ネットワークの連携により、地域包括ケア、および製薬・保険業界の幅広い領域で信頼性と拡張性の高いヘルスケアインフラを迅速に社会へ実装することを目指します。

日時

2026年 5月 27日 (水)
12:05 ~ 12:55

場所

ZOOM開催

参加費

無料

※申込締切：2026年 5月 26日 (火) 17:00まで

お申込みは **下記の二次元コード** を
クリック または **読み取り** ください

